

2016年3月期 第1四半期
決算の概要

2015年7月31日

日本ユニシス株式会社

システムサービスを中心にサービス売上が伸長 販管費の削減も進み営業利益は前期比65%増

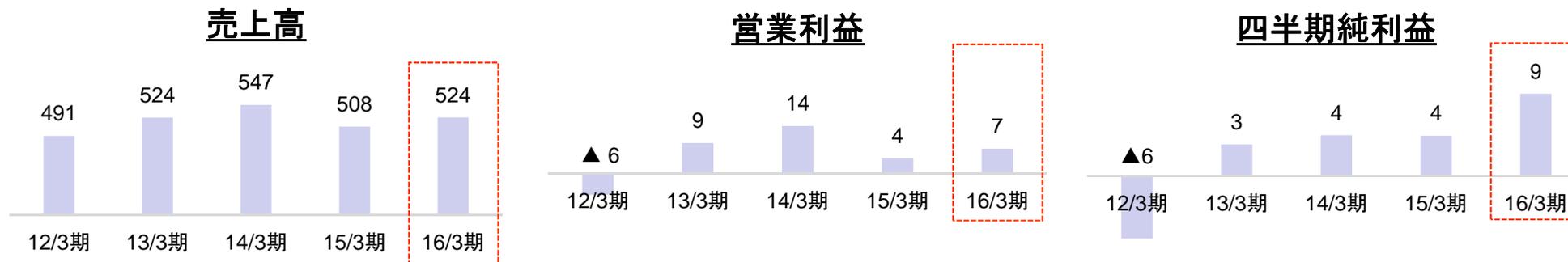
(単位:億円)

	1Q(4-6月)		前年同期比 増減	
	2016/3期	2015/3期		
売上高	524	508	+16	+3.2%
売上総利益	126	131	▲6	▲4.5%
販管費	▲118	▲127	+9	+6.9%
営業利益	7	4	+3	+65.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9	4	+4	+104.3%
受注高	524	495	+29	+5.8%
受注残高	2,102	2,146	▲44	▲2.1%

<1Q決算のポイント>

- 売上高
サービス売上の伸長により増収
- 営業利益
売上総利益は減少するも販管費削減により増益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
有価証券売却益も寄与し大幅増益
- 受注高・受注残高
製造、電力・サービスなど好調により受注高は増加
受注残高はアウトソーシングの売上計上に伴い減少

【ご参考】 1Q(4-6月)の売上高、営業利益、四半期純利益の5カ年推移 (単位:億円)

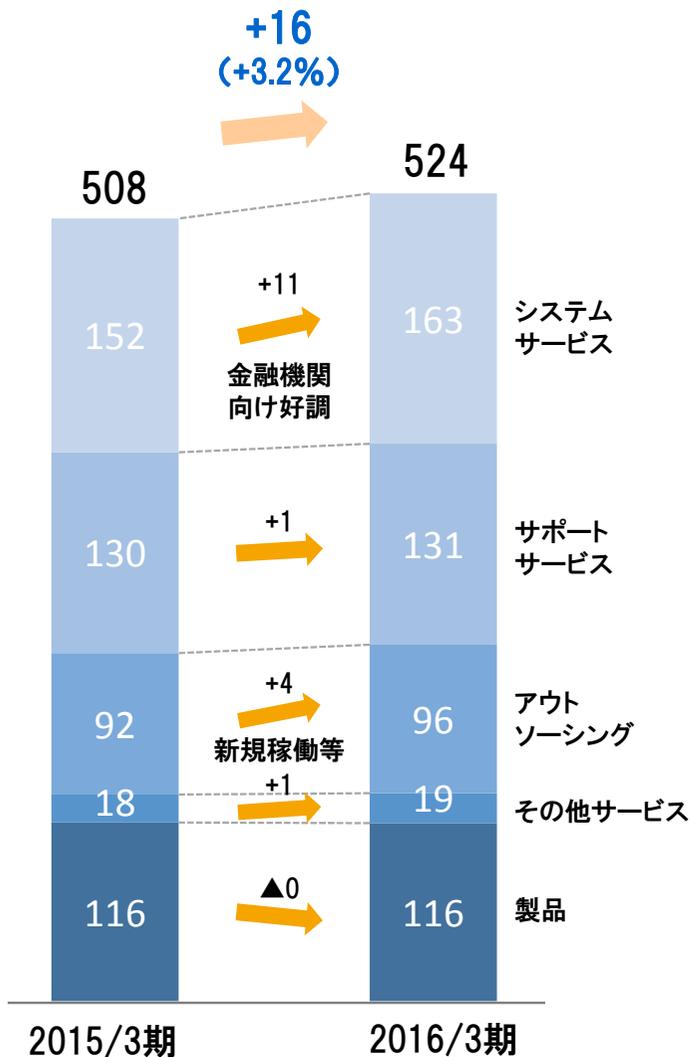


2016年3月期 第1四半期 セグメント別の状況

Foresight in sight

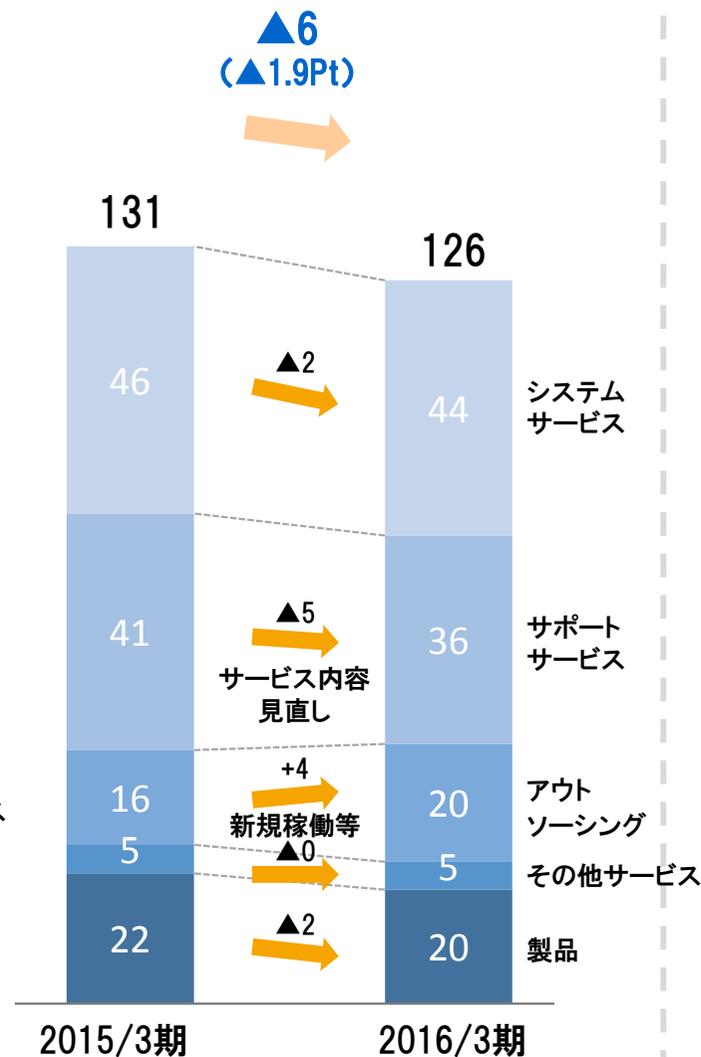
(単位:億円)

売上高



(カッコ内は増減率)

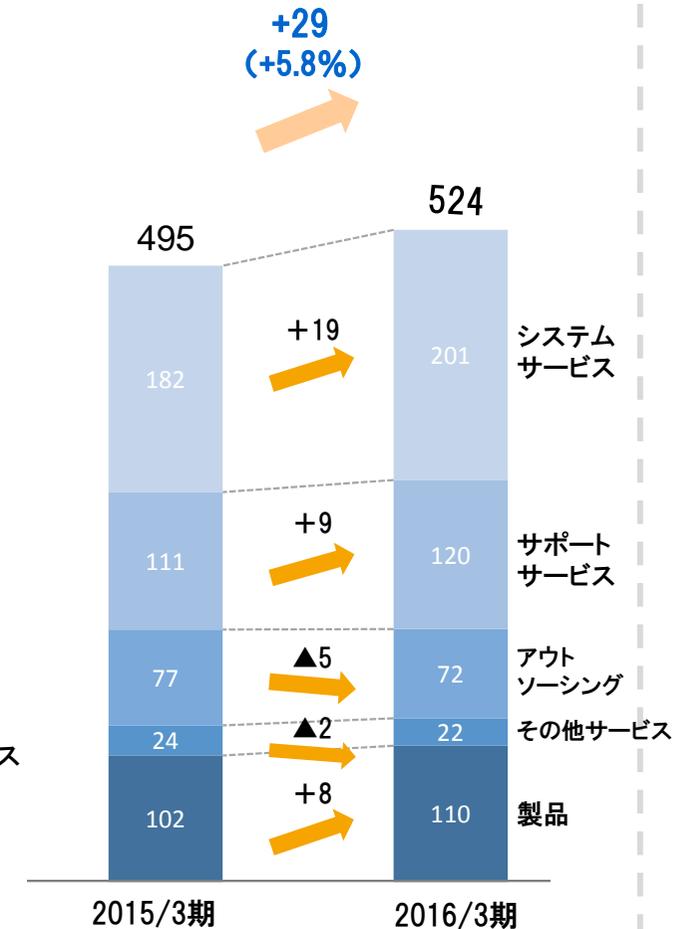
売上総利益



(カッコ内は売上総利益率増減)

【ご参考】

受注高

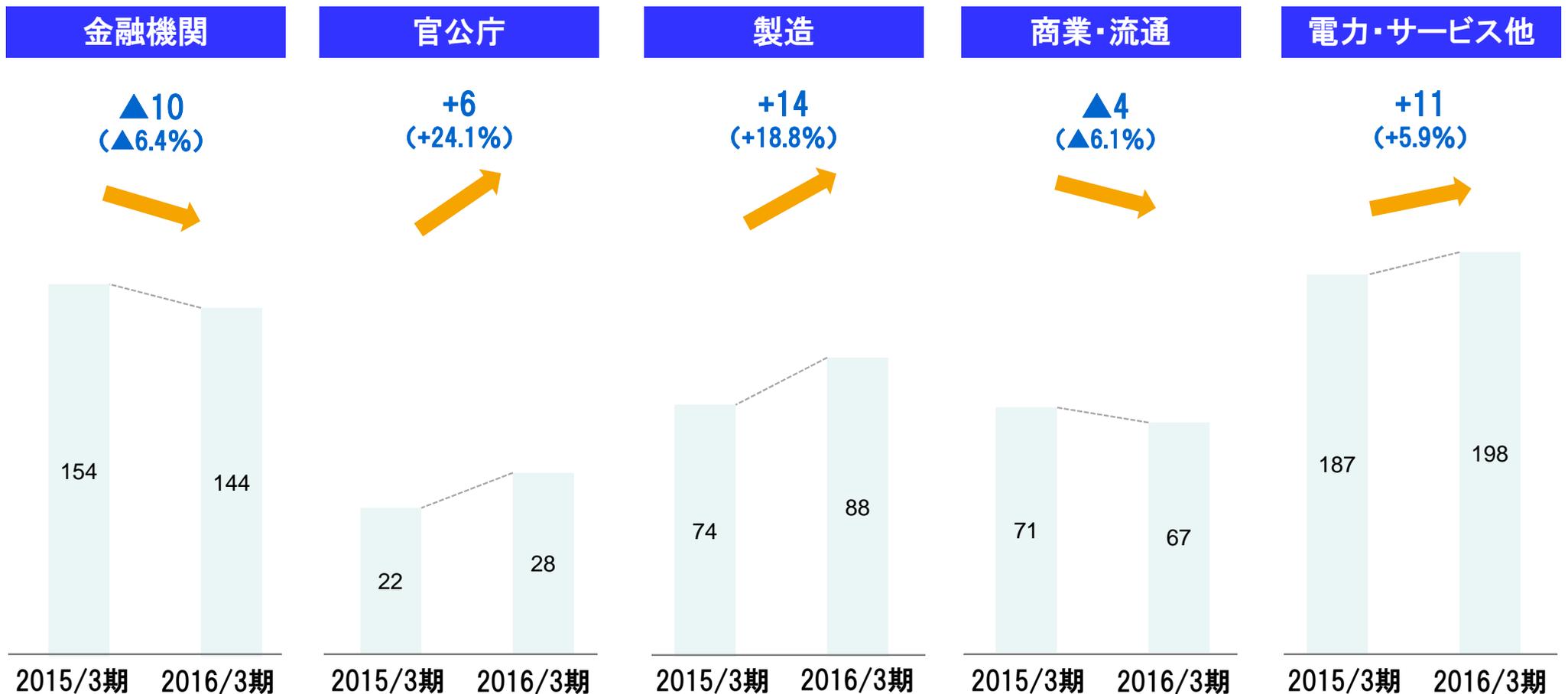


(カッコ内は増減率)

2016年3月期 第1四半期 マーケット別売上高

Foresight in sight

(単位:億円)



(金融機関)
 信金を中心にシステム
 更改案件活況。証券業
 界向けも案件増加見込
 み。

(官公庁)
 リスクを見極め案件選
 別も、地方自治体等で
 システム改修需要が堅
 調。

(製造)
 自動車産業を中心に回
 復基調継続。

(商業・流通)
 小売・通販は引き続き堅
 調。東京オリンピック・パ
 ラリンピックを睨んだ案
 件活況。

(電力・サービス他)
 電力小売自由化案件を
 中心に活況。キャリア案
 件も回復の兆しあり。

上期の売上高、営業利益、当期純利益の予想は
公表値(5月8日)から変更なし

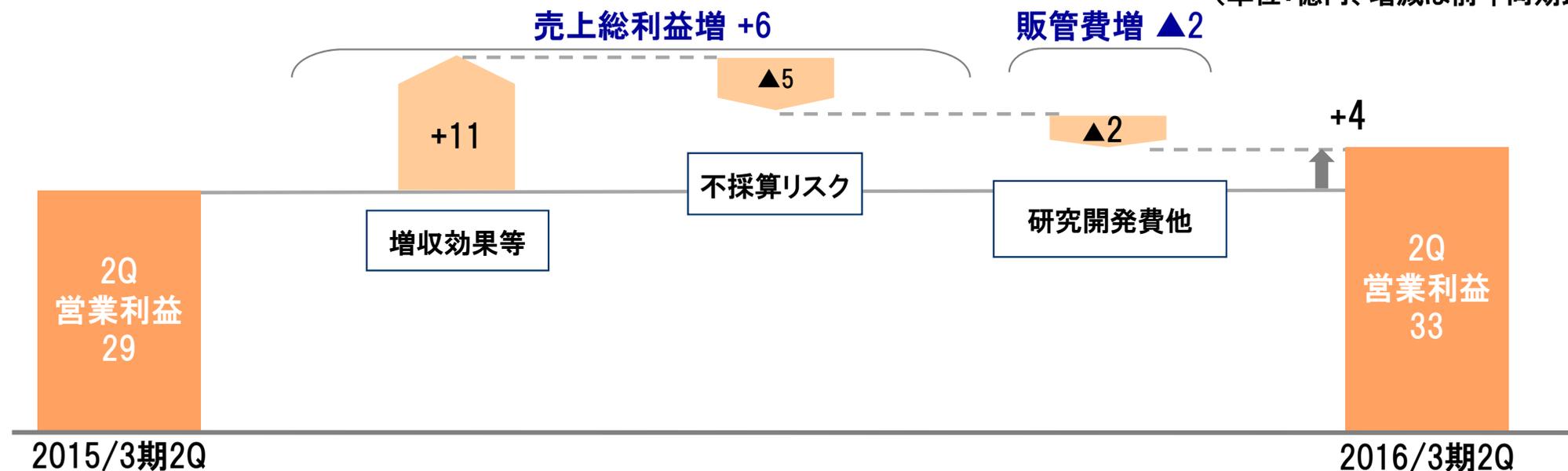
(単位:億円)

	2016年3月期 1Q実績		2016年3月期 2Q予想		2016年3月期 上期予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比
売上高	524	+16	736	+25	1,260	+41
営業利益	7	+3	33	+4	40	+6
親会社株主に帰属する 当期純利益	9	+4	11	▲4	20	+0

* 上期予想の内訳は補足資料をご覧ください。

【2Q(7-9月) 営業利益の増減分解】

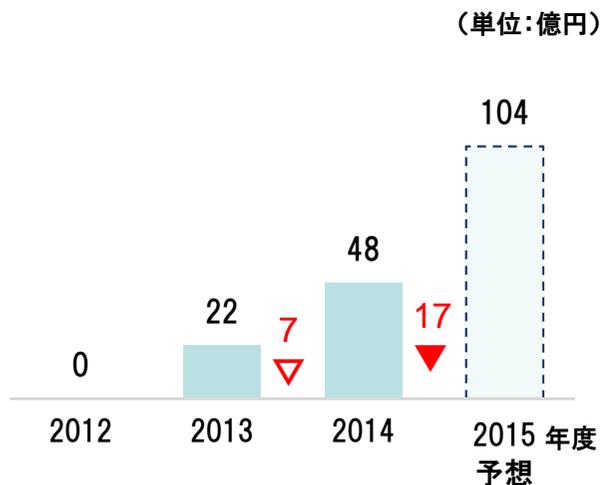
(単位:億円、増減は前年同期比)



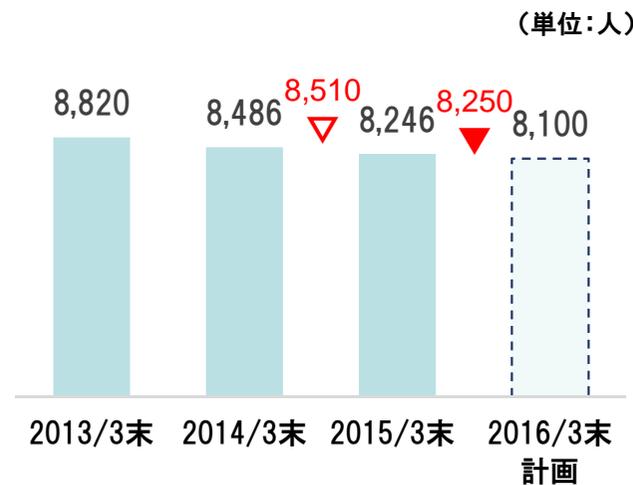
中期経営計画(2015→2017)の進捗

▼ 今年度1Q実績
 ▼ 前年度1Q実績

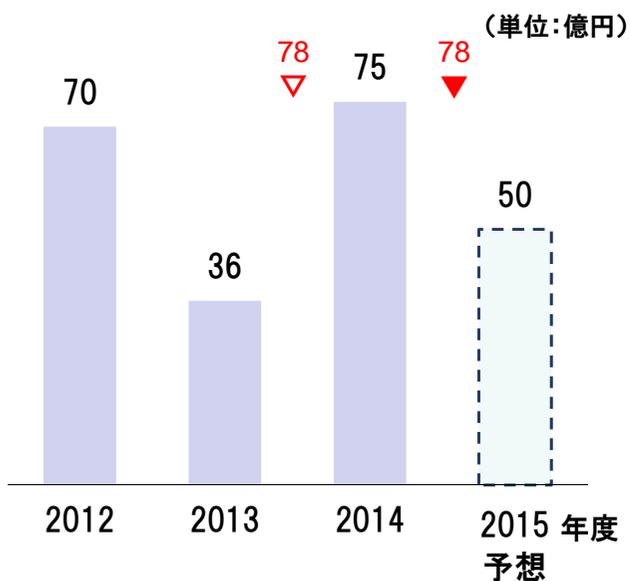
DNP協業売上高



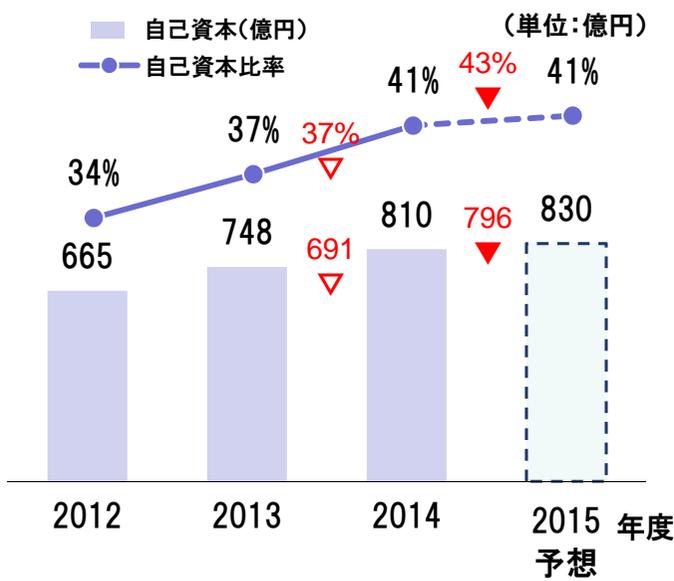
従業員数



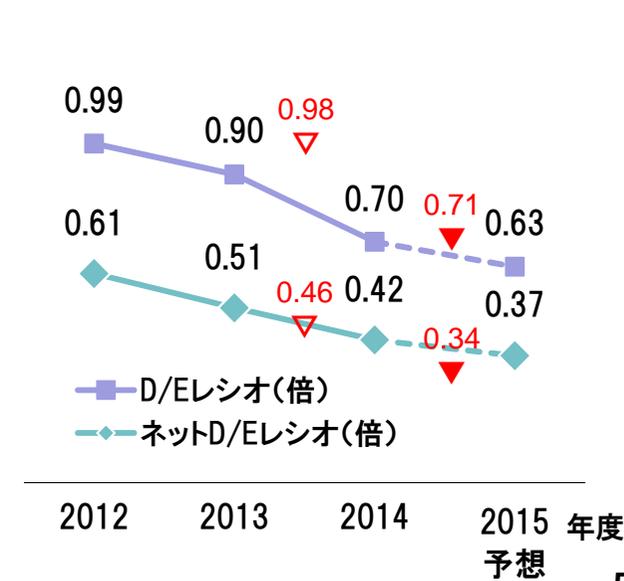
フリー・キャッシュ・フロー



自己資本



D/Eレシオ





(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。